

2020年4月422号

発 行

南日本薬剤センター薬局
鹿児島市谷山中央5-15-1
☎099-267-4365

発行者：岩元 正義



◆鹿児島市の人口(推計)◆

令和2年3月1日現在

人口総数 594,561人

糖尿病になるとどうなる？

糖尿病は、はじめのうちは

糖尿病には大きく分けて、1型糖尿病と2型糖尿病があり、それぞれ原因が違うので治療法も変わってきます。1型糖尿病は、インスリンをつくる細胞が破壊され、体内のインスリンの量が絶対的に足りなくなつて起こります。多くは子供のうちに始まります。

2型糖尿病は、インスリンの出る量が少くなつて起こるものと、筋肉などの細胞がインスリン作用をあまり感じなくなる（＝インスリンの働きが悪くなる）ことが原因で、ブドウ糖がうまく取り込まれなくなつて起るものとあります。食事や運動など的生活習慣が関係している場合が多く、わが国の糖尿病の95%以上がこのタイプです。

また、年間1万3千人（平成27年度人口動態統計）もの人が糖尿病で亡くなつていますが、さらに大きな問題に「合併症」があります。「糖尿病神経障害・糖尿病網膜症・糖尿病腎症」は、糖尿病に特有の3大合併症とよばれます。いずれも重篤な病気です。

糖尿病が発症してから10～15年放置して治療もせずにいると、これらの合併症がでてきます。

糖尿病にならぬために

最も重要な糖尿病予防は、

激しいトレーニングが必要というわけではなく、できるだけ外出時は歩く、エスカレーターにより階段を使う、ひま

の中性脂肪を減らし、筋肉をつけることで基礎代謝量の多い身体をつくります。

糖尿病予防で、もう一つ大切なことは、無理のない適度な「運動」です。運動は身体

の生活習慣が関係している場

合が多く、わが国の糖尿病の95%以上がこのタイプです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になってしまったとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いった治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も効果のある、基本となる治療法です。

糖尿病のリスクを上げる要因

になるのでできるだけ避けましょう。

糖尿病は、しっかりとした自己管理で防げる病気です。

また、もし、糖尿病になつてしまつたとしても、血糖を下げる薬やインスリン注射と

いた治療をしますが、治療

は一生に渡つて続くため、や

はり、自己管理が大切になつ

てきます。それができれば、

治療中であつても健康な人と

変わらない生活をすることが

可能です。

きちんとした食事と運動

は、健康の基本です。それを

心がけて日々の生活を送るよ

うにすれば、糖尿病の危機も

回避できるはずです。

糖尿病にならぬために

な時間にストレッチをする、

ストレスや不規則な生活は

肥満防止です。そのためにも、食事の量と栄養のバランスに気を付けましょう。食事療法は、糖尿病に最も

花粉症



日常生活から考えられる原因

スギ、ヒノキ科の花粉

カバノキ科の花粉

イネ科の植物の花粉

ブタクサなどの雑草の花粉

日常生活でできるだけ花粉を避ける

外出時はできるだけ花粉を避ける

花粉情報を活用する

花粉が飛び始める時期や間帯などの情報は日本気象協会などのホームページやテレビ、新聞、インターネットなどさまざまなメディアから手に入れることができます。外出時はマスクをし、メガネやゴーグル、帽子を着用します。二ヶ月の服は花粉がつきやすいので、花粉の季節は、スペスベした素材の服を選んで着るようになります。

・マスクをして保湿する

マスクをして保湿、保温することで症状が緩和されます。さらに、マスクは鼻の中に入れる花粉の量も減らしてくれるので、花粉症の時期には欠かせないアイテムです。

・目を冷やす

目のかゆみが強いときは、鼻を洗い、うがいをすることが大切です。洗濯物はできるだけ乾燥機を利用するか部屋干しで。布団を外に干したときは、よく花粉を払い落としてから取り込み、さらに掃除機をかけて残った花粉を吸引しましょう。

・室内の花粉を減らす

晴れて風が強い日中は花粉がたくさん飛びます。とくに飛散のピークとなる昼前から午後3時ごろの時間帯はなるべく外出を控えましょう。外出時はマスクをし、メガネやゴーグル、帽子を着用します。二ヶ月の服は花粉がつきやすいので、花粉の季節は、スペスベした素材の服を選んで着るようになります。

・室内に花粉を持ち込まない

外出から戻ったときは、家に入る前に玄関先で服などについた花粉を払い落とします。また、すぐに手や顔、鼻を洗い、うがいをすることが大切です。洗濯物はできるだけ乾燥機を利用するか部屋干しで。布団を外に干したときは、よく花粉を払い落としてから取り込み、さらに掃除機をかけて残った花粉を吸引しましょう。

・日常生活でできるだけ花粉を避ける

晴れて風が強い日中は、窓やドアをできるだけ閉めてお

きましょう。室内に漂つてゐる花粉を取り除くには、空気清浄機が効果的です。掃除をするときは花粉を舞い上げないことが大切なで、床や畳は拭き掃除をしてから掃除機をかけます。ソファやカーテンも念入りに掃除機をかけ、仕上げに家具を濡れた雑巾で拭きましょう。

・栄養バランスの良い食事をとる

アレルギーに負けない体をつくるには、栄養バランスの良い食事をとるように心がけるのが一番大切です。とくに肉中心の高たんぱく質な食事は、アレルギー反応を悪化させることでいるので注意しましょう。また、乳酸菌は花粉症の症状緩和に効果があるともいわれています。

・市販の薬を使う

アレルギー症状を引き起こすヒスタミンの働きや粘膜の炎症を抑える内服薬で、鼻の充血を緩和する点眼薬もありますので、薬剤師や登録販売者に相談のうえ、自分に合った薬を選びましょう。

・病院で診察を受ける

毎年一定の時期にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状が出る場合は、花粉症の可能性があります。耳鼻咽喉科やアレルギー科で診察を受けましょう。ただし、とくに目の症状がつらい場合は眼科、皮膚科、せきや全身症状のある場合は内科など、症状に応じて診療科を選ぶことが必要になります。

・生活習慣を改善する

疲労は自律神経を過敏にし、アレルギー反応を起こしやすくします。睡眠を十分にとり、ストレスを溜めないようにします。また、お酒やタバコ、香辛料などは鼻の

紫外線について



最近ボカボカと暖かく、過ごしやすい陽気になつてきましたね。夏ほど厳しい日差しではないので、ついつい日光に当たりたくなります。しかし、3月以降は紫外線量が急激に増える時期であることを忘れてはいけません。

紫外線は、骨の形成に必要なビタミンDの合成に関わる重要なものです。と言つては必要ではなく、両手の甲くらいの面積が15分間日光にあたる程度で良いそうです。紫外線を浴びすぎると、次のよ

うな悪影響が考えられるため、日々の紫外線対策が重要になります。

毎年一定の時期にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状が出る場合は、花粉症の可能性があります。耳鼻咽喉科やアレルギー科で診察を受けましょう。

・生活習慣を改善する

疲労は自律神経を過敏にし、アレルギー反応を起こしやすくします。睡眠を十分にとくに目の症状がつら

い場合は眼科、皮膚科、せきや全身症状のある場合は内科など、症状に応じて診療科を選ぶことが必要

になります。

・紫外線による人体への悪影響

清潔なタオルで冷たいおしほりをつくり、まぶたの上に置くと楽になります。

・紫外線対策といえれば、日焼け止めやサンガラス、帽子などが挙げられます。日常的に

サンガラスが必要か疑問に思うかもしれません。しかし、眼から侵入した紫外線が原因でメラニンが生成され、肌が

日焼けすることも考えられており、肌だけでなく目の紫外線対策も重要です。眼の紫外線ばく露は、帽子をかぶることで約20%カットされると言

われていますが、一般的に高機能とされている紫外線カット

線ばく露は、帽子をかぶることで約20%カットされると言

われていますが、一般的に高機能とされている紫外線カッ

トサンガラスやメガネを着用することで、帽子をかぶった

とで約20%カットされると言

われていますが、一般的に高機能とされている紫外線カッ

トサンガラスやメガネを着用することで、帽子をかぶった

とで約20%カットされると言</p

あなどれない偽薬（プラセボ）効果

偽薬（プラセボ）効果といふ言葉を耳にされたことはないでしょうか。プラセボ効果とは有効成分が含まれていなくすりを、本物のくすりとして患者さんに使用してもらつたときに、ある程度の割合で治つてしまふことがあります。これは、生体が本来有する自然治癒力、自然変動をベースに、患者さんの暗示効果や期待効果、治療環境などの諸要因の影響により生じる結果の総和と理解されています。一般に、不安・緊張と疼痛に関連した症状ないし病態はプラセボに反応しやすいと考えられています。

では、プラセボがくすりの代わりになるのかといえば、それは違います。偽薬がくすりの代わりになるということではありません。プラセボ効果は人によつて差が大きいのに対し、くすりは多くの患者に安定して高い効果を發揮するように作られています。

実際、新薬の臨床試験で

参考文献・第日本住友製薬健康情報サイト、日本ジェネリック製薬協会「JGApedia」

(楠元)

イプのものである場合には、比較すべき適当な対照薬がないことから、外観や味を治験薬とまったく同じにしたプラセボを作り、比較試験を行います。

ジェネリック医薬品へ切り替えたときに、「効果が出ない」「副作用が出た」など申し出る患者さんがいらっしゃいます。そこにはプラセボ効果のような心理的な要因が働いているケースもあるのではないかと考えられます。

マスクの効果は、ウイルス・菌を含んだ飛沫やほこりを外側のフィルターの部分でキャッチすることで発揮されます。しかし、顔とマスクの隙間があいていると、マスクのフィルターを通さずに吸い込まれる空気が多くなり、それだけマスクの効果は低くなります。

また、使用中・使用後のフィルター部分にはたくさんのウイルス・菌が付着しているので、なるべく触らないようにし、1日1枚程度を目安に交換することが大切です。誤った使い方をすると、予防効果が得られなかつたり、ウイルス・菌を広げることになる

マスクの効果は、ウイルス・菌を含んだ飛沫やほこりを外側のフィルターの部分でキャッチすることで発揮されます。しかし、顔とマスクの隙間があいていると、マスクのフィルターを通さずに吸い込まれる空気が多くなり、それだけマスクの効果は低くなります。

①ゴムの部分を持ち、上方に移動させる。

②フィルター部分の表面に触らないよう注意して、顔から外し、廃棄する。

③すぐに手を洗う。

正しいマスクの使い方で、効果を高めましょう！

参考文献・エーザイ株式会社
ウェブサイト、日本HP
(松田)

・生活リズムが乱れると、自律神経の働きに悪い影響を与えるため、決まった時間に起床就寝するなど生活リズムを作る。

(次ページへ)

ウイルス・菌を防ぐ マスクの正しい使い方



季節の変わり目は 体調の変化に注意

・装着する時

- ①ゴムひもで固定し、鼻、口、顎を覆う。特に鼻と口の両方を確実に覆うことがポイント。

- ②鼻の部分を押さえてフィットするよう調節する。

- ③隙間がないように調整する。

・使用中

使用中はマスクになるべく触らないようにする。特に、口周りを覆うフィルターパーツには触らないよう注意し、触った時はすぐに手を洗う。

・外す時

①ゴムの部分を持ち、上方に移動させる。

②フィルター部分の表面に触らないよう注意して、顔から外し、廃棄する。

③すぐに手を洗う。

・自律神経の乱れを乗り切るためにには？

春は異動・転勤・新生活の始まりなど環境の変化でストレスが多くなり、自律神経が乱れやすくなります。自律神経が乱れると、身体がだるい・眠い、食欲が出ない、イライラする、便秘・下痢、動悸・息苦しさ、めまい、頭痛などの症状が出てきます。

・生活リズムが乱れると、自律神経の働きに悪い影響を与えるため、決まった時間に起床就寝するなど生活リズムを作る。

参考文献・エーザイ株式会社
ウェブサイト、日本HP
(松田)

Cooking

新たまねぎとツナのみそマヨグリル

材料(4人分)

- ・新たまねぎ……………(大) 1個
- ・ツナ缶(オイル漬け／フレークタイプ)…1缶(70g)
- ・A:みそ……………大さじ2
みりん……………大さじ1
- ・グリーンアスパラガス…3本
- ・パプリカ(黄)……………1/2コ
- ・マヨネーズ……………適量
- ・七味とうがらし…………好みで適宜
- ・サラダ油・塩・黒こしょう(粗びき)

作り方

- ① ツナは缶汁ごとボウルに入れ、Aを加えて混ぜる。
- ② 耐熱容器にサラダ油を薄く塗る。
- ③ 新たまねぎは根元をくりぬき、8等分のくし形に切る。アスパラガスは根元の硬い部分を切り落とし、下半分の皮を皮むき器でむき、5cm長さの斜め切りにする。パプリカはヘタと種を除いて縦半分に切り、小口から1cm幅に切る。
- ④ ②の耐熱容器にたまねぎ、アスパラガス、パプリカを入れ、塩・黒こしょう各少々をふる。
- ⑤ オーブントースターで12~15分間焼く。
- ⑥ 焼き色がついたら取り出し、好みで七味とうがらしをふる。

きょうの料理2015年4月号より
(大谷)

・1日3食を守ることが大切ですが、特に朝食は、寝ている間に下がった体温を上げ、自律神経を整えるために欠かさない。

・自律神経の働きを整える作用のあるビタミン・カルシウム・ミネラルを中心とし、栄養バランスのよい食事をとる。特にビタミンB1(豚肉、うなぎ、玄米など)は痛みや自律神経のメニズムとも深く関係している、脳の栄養素・糖質を体内でエネルギーに換えて

くれる際に不可欠。
・夜更かしが続くと、副交感神経と自律神経の切り替えがうまくいかなくなるため、睡眠をしっかりとる。リラックスする時間を作れる。

・衣服で体温調整をする。
・ストレス解消をする。
・ストレッチや散歩など負担にならない程度に体を動かす習慣をつける。

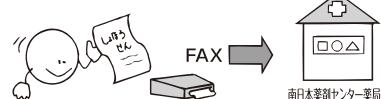
・自律神経を整えて、春の不調を乗り越えましょう。

参考文献…サワイ健康推進課、産業保健新聞
（春は自律神経が乱れやすい季節）
(丸山)



病院・医院の処方せんをもらったら FAX利用が便利です

ご自宅、その他のFAXをご利用の上処方日を含めて4日以内に、処方せんを持って来局されると、待ち時間も少なく便利です。



薬局だよりが毎月発行から年4回の発行となり、この編集後記を書く機会も減ってしまい、書きたい事がたまってしまい、も困っているのですが、さすがに今回は「新型コロナウイルス」に触れないわけにはいかないようですね。残念ながらまだ明確な収束の道筋は見えてませんが、過剰に不安にならず、手洗い・うがい・マスク着用、不要不急の外出を控えるなど、出来る事を続けていきましょう。早くいつもの生活に戻る事を願っています。

編集後記

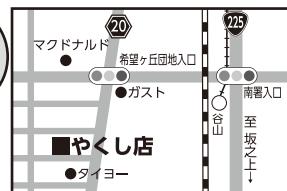
2020年3月1日 南日本薬剤センター薬局 やくし店 開局しました！



TEL: 099-269-7766
FAX: 099-269-7850

営業時間: 月曜日～土曜日 9時～18時

定休日
日曜日
祝日



南日本薬剤センター薬局 病院・医院の処方箋をもらったらFAX利用が便利です。

本店 FAX 267-6144
TEL 267-4365
8:30~22:00 (年中無休)

慈眼寺店 FAX 260-4197
TEL 267-0871
8:30~17:30 (第2・4土13:00まで
第1・3・5土・日・祝休)

坂之上店 FAX 284-6375
TEL 284-6373
8:30~18:30 (土13:30まで 日・祝休)

中山店 FAX 284-7882
TEL 284-7881
8:30~18:30 (土13:30まで 日・祝休)

※FAX送信の際は確認のお電話を頂けると幸いです

吉野店 FAX 210-7651
TEL 210-7650
8:30~18:30 (日・祝休)

上荒田店 FAX 204-9361
TEL 204-9360
8:30~19:00 (土13:30まで 日・祝休)

紫原店 FAX 297-6861
TEL 297-6851
9:00~19:00 (日・祝休)

鴨池新町店 FAX 297-4010
TEL 297-4050
8:45~18:45 (土13:15まで 日・祝休)

やくし店 FAX 269-7850
TEL 269-7766
9:00~18:00 (日・祝休)